

「関西で長く愛されている優良企業180選」に 弊社・中央自動車工業が掲載されました。

日刊工業新聞社より発行されました「関西で長く愛されている優良企業180選
(継承と革新のひけつ)」に、弊社が掲載・紹介されました。

次頁より掲載内容を添付致しておりますので、ご一読頂ければ幸甚に存じます。

今後とも、お客様、お取引先様、全ての方々への感謝の念を忘れることなく、
社会のお役に立てる開発型企業を目指し精進してまいります。

●書籍／出典:日刊工業新聞社



▼掲載内容(606～609ページ)を添付致しております。

機
械

金属・鉄鋼・
非鉄金属

化学・繊維・
素材・医薬

電機・電子・
精密機器

金融・商業

運輸・建設・
輸送機器

ガス・その他製造

自動車業界の潜在ニーズを 掘り起こす開発型企業

中央自動車工業(株)

自動車業界向けのさまざまな資材や部品を製造・販売する。国内は自動車販売店向けのコーティング剤やエンジンオイル添加剤などを主力商品とし、官公庁や企業向けのアルコール検知器などの製品も展開する。海外は60数カ国に自動車のエンジンやサスペンションなどの補修用部品を販売する。坂田社長は「顧客の潜在ニーズを読み、新しい商品やサービスを開発する企業を目指す」と力を込める。

日本が戦後の混乱期にあった1946年、創業者の上野富造氏が産業資材や自動車部品を調達、販売する商社とし

社・理念

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。



代表取締役社長
坂田 信一郎氏

て設立した。自動車の普及や高度経済成長の波に乗って国内事業を成長させながら、自動車部品の海外販売や部品製造にも事業を広げた。特に、米社から製造販売権を得て始めたカークローラーは、カーユーズの需要を捉えて拡大し、企業が成長するきっかけとなった。

ところが、80年頃から自動車メーカーがエアコンの内製を始めると業績は厳しくなる。部品事業が力を落としていたこともあり、90年頃までは既存事業や会社の収益構造を見直す時代が続いた。国内の部品事業は撤退してカー用品販売に転換し、携帯電話販売などの新規事業も始めた。

■自動車販売店向け事業に業態を転換

こうした難局を乗り越えて生まれた事業が、94年に米国のCPCから日本の独占販売権を得た車用コーティング剤「CPCペイントシーラント」だ。自動車販売店が納車前



コーティング剤
「CPC ボディーアーマー
マキシム」



2017年に開設した研究開発施設「中之島 R & D センター」

の新車にコーティングを施すことでユーザーの洗車の手間を減らし、塗装の美しさを保護する。販売店の収益向上にも貢献できる手法が効を奏して、事業を拡大した。坂田社長は「量販店向けのカー用品事業から、販売店と協力して商品やサービスを向上し、ユーザーのニーズを掘り起こす業態に変わった転換点」と振り返る。

コーティング剤などの製造のほか、2017年には研究開発施設「中之島 R & D センター」を開設。坂田社長も「自社製品を生み出す研究開発型企業へと変身した」と胸を張る。中国や東南アジアなどに拠点を増やし自動車部品の商社事業も拡大。18年には、韓国の部品メーカーと合弁でベトナムにサスペンション工場を建設するなど、メーカー事業の展開も視野に入れる。

